

【資料2－1】第2期 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏連携事業達成状況調書(令和6年度) 修正箇所

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					評価	R6		創生 総合 戦略
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率		成果と課題	今後の取組方針	
P 5	20	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」支援事業	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」が行う圏域の観光素材の開発・販売促進及び国内外への広報宣伝活動や受入環境整備等を支援する。 ■観光DX事業（観光CRMシステムの導入） ・参画店舗：200店舗 ・会員数：9,981人 ①会員向けの定期的（各月2回）なメルマガ配信による観光情報の発信。 ②新規会員登録キャンペーンの実施。（6/17～） ・新規登録者数：1,778人 ③スタンプラリー型周遊促進キャンペーンの実施（11/1～） ・参加者総数：2,149人 ④目的型キャンペーン（12/20～） ・参加者総数：6,850人 ■マーケティング事業 圏域内各観光施設等での独自ウェブアンケートの実施。 ・回答件数：2,763人 ■流通整備事業 ①3DMO連携山陰海岸ジオパーク周遊ルート造成 ・FAMトリップ（12/3～5）4人参加 ・4社で28件を販売 ②ローカル鉄道を活かした周遊促進事業 ・FAMトリップ（12/5～7、12/16～19）3人参加 ・2社で18件を販売 ■インバウンド受入環境整備事業 高付加価値化商品の造成9件やプロモーションツール「EXPLORE KIRIN NO MACHI」発行、各種商談会への参加、オペレーション体制の構築を実施。	全市町	圏域を訪れる宿泊旅行者の観光消費額（DMO独自アンケート調査結果による）（円/人）	35,270円/人	35,900円/人	39,331円/人	109.6%	◎	観光DX「このへん共和国」の登録会員数及び参画事業者数は引き続き、当初のKPIを大きく超えた実績となっている。新たに、周遊スタンプラリー機能や各店舗による独自キャンペーンの展開が可能となる機能拡充が図られたことから、各主体による圏域へ再来訪を促すための積極的な活用が求められる。また、大阪・関西博覧会開催を契機とするインバウンド需要の拡大を見据え、体験商品の造成・販売とともに、受注体制強化のためツアーオペレーション機能の構築を行った。国内外からの幅広い受注に 대응するため、より充実した体制整備が求められる。 ▼ 万博	観光DXシステムを通じたきめ細かな情報発信と自治体や個人事業者による積極的な活用展開を図り、誘客促進と観光消費の拡大を図ります。また、海外向けセールスを充実するとともに、F I T向けの受け入れ体制の充実を検討していきます。	★
P 6	23	因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	●鳥取・因幡を周遊するバスツアー（2コース） ・ジオコース（鳥取砂丘・浦富海岸） 6/22・6/29・7/13・7/27・8/3 8/17・8/24・9/8 計8本催行 ※ジオコース（インバウンド専用）10/4 催行予定 ・原風景コース 9/14・9/21 催行 10/5・10/12・10/26・11/2 催行予定・11/9 計7本催行 ※9/7は中止 ●乗車人数：計294人	全市町	バスツアーの参加者数（人/年）	130（令和5年度）	760	295 294	38.7% 38.7%	×	R6年度は「ジオコース」と新しく「原風景コース」が増えた。「ジオコース」は去年よりも2倍近く増えている。インバウンド客も増えてきている。	今後はさらに色々なコースを増やし、インバウンド客の増加を図る。	